



## 研究テーマ

- 1 労働協約の果たすこれからの機能
- 2 「休むこと」と法制度
- 3 最新労働判例の分析



## 丸山 亜子

まるやま あこ  
地域資源創成学部

教授

## キーワード

- ・労働法
- ・労働条件規整
- ・労働協約
- ・労働組合
- ・休暇
- ・休業

特許情報・  
共同研究・  
応用分野など

## 研究概要

労働分野における法のあり方について研究しています。たとえば、労働組合と使用者が結ぶ労働協約が、どのような機能を果たすべきか、「休むこと」と法制度との関係(病気休業や育児介護休業、年次有給休暇など)などの問題について取り組んできました。

## 1 労働協約の果たすこれからの機能

労働時間や賃金などの労働条件を取り決める際、就業規則、労働契約、法律、労働協約それぞれの関係がどのようにあればよいかにつき、ドイツの法制度との比較を通じた研究を行っています。本研究では、労働協約の機能の変化に着目し、労働組合および労働協約の今後あるべき姿についても考察対象にしています。

企業の雇用管理において、レベルの異なる規制によりいかに労働条件を定めればよいか、労働者に不利益となる労働条件変更が許されるのはどのような場合かは難問です。本研究は、こうした難問を考える手がかりとなります。

## 2 「休むこと」と法制度

ワークライフバランスが叫ばれる今、さまざまなシチュエーションにおける「休み」を法制度でいかに保障していくか、また、「休み」を取った場合、金銭面の手当をどうするかについて、ドイツとの比較研究を行っています。なかでも、育児介護休業法は重要でありながら、わかりにくい法律です。法律では育児や介護についてどのような支援を準備しているのか、今後、法制度がどうあれば、「ライフ」と「ワーク」のバランスが取りやすくなるのかを明らかにしていきます。

## 3 最新労働判例の分析

最新の労働判例を詳細に分析することで、その判例の射程範囲を明らかにし、雇用管理上、留意すべきポイントを適宜考えます。

## ホームページ

## 技術相談に応じられる関連分野

- ・労働法関連分野
- ・雇用管理

## メッセージ